



## Vehicle Tracking Systems ~ Market and Technical Analyses (車両追跡システム：市場分析及 び技術分析)

車両追跡システムに関するSBDの最新レポートでは、各国の保険業界がとっている立場について市場と技術の2つの視点から分析を行なっています。

また本レポートでは、追跡システム搭載車両の保険料引き下げや顧客の要求に影響を及ぼす将来の動向を専門家の見地から予測しています。

### 本レポートを下記の事柄にお役立て下さい：

- 保険会社の要求を満たすために克服しなければならない課題を理解する
- 市場浸透率の拡大につながるシナリオを特定する
- 成長を続ける追跡システム市場でシェアを伸ばすための戦略を策定する
- 費用効率よく製品認可を受けるための設計ソリューションを構築する

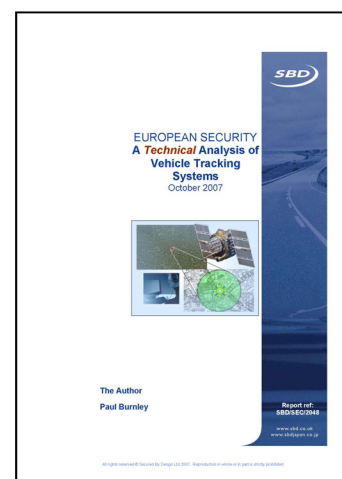
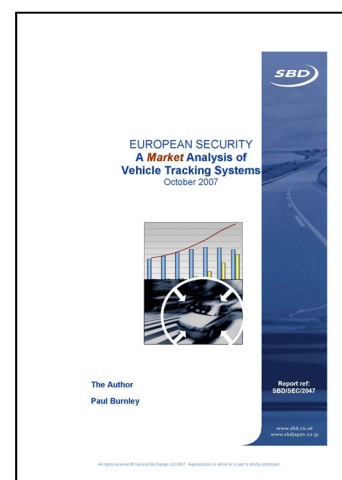
本レポートは2部構成となっております。

### Vehicle Tracking Systems ~ *Market Analysis* (市場分析)

### Vehicle Tracking Systems ~ *Technical Analysis* (技術分析)

市場分析には、盗難車両追跡システム市場について理解を深める上で自動車メーカーや盗難防止システムのサプライヤーの皆様にとって必読の情報が含まれています。

技術分析では、欧州各国の異なる技術要件を満たすにあたり設計に携わる方をサポートする情報をご提供しています。



詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

担当：山口 美則  
Eメール：yyamaguchi@sbdjapan.co.jp  
Tel： 052-253-6202

# Vehicle Tracking Systems ~ Market and Technical Analyses

(車両追跡システム：市場分析及び  
技術分析)

...know what tomorrow brings

## 欧州全域で盗難車両追跡を実施する上での課題を見極める

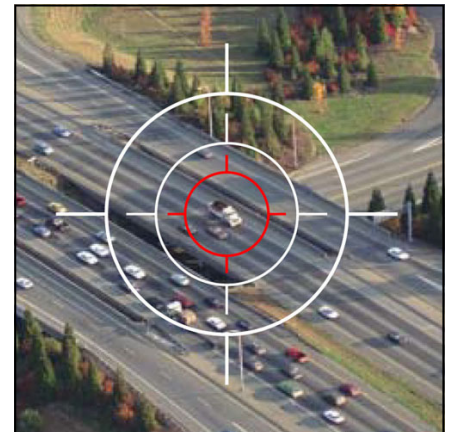
SBDが実施した調査により、欧州における新型車両を対象とした窃盗の内80%以上がオリジナルの鍵を使用した犯行であることが明らかになりました。これには、新型の車両に施されている厳重な盗難防止対策により、各車両に登録されているオリジナルの鍵を使用することでしかこれらの車を盗めなくなっている事情が背景にあります。近年では、鍵の盗難が高級車両の盗難を促進させる大きな要因となっており、SBDではこの傾向は今後も続くと見えています。

高価な車両を狙うプロの窃盗団がこの犯行手口を多用するようになってきているため、これらの車両の回収率が大幅に低下しており、それに伴い保険金の支払いによる保険会社の負担も上昇しています。欧州では保険費用を低減するための対策として、オリジナルの鍵を入手した窃盗犯により車が盗まれても最終的に車を回収できるようにする自動車追跡システムの装備と運用に関する基準を、多くの保険会社が策定しました。差し込み型キー、イモビライザー、アラームなどの従来の盗難防止システムが盗難を“防止”することを目的としているのに対し、自動車追跡システムは盗難に遭った車両を“回収”することを目的としている点でこれまでとはアプローチを異にしています。

GPS技術が高度化してきたことによって多くの会社が自動車追跡システムの提供に踏み出すことができた一方、追跡システムの開発、統合、運用に盗難対策の基本原則が適用されない限りこれらの製品は盗難車両の回収に効果を発揮できない可能性があります。本レポートは、設計者が市場で求められる要件を理解し、欧州市場で広く保険認可が得られるような効果的な自動車追跡システムを開発する上で参考になる情報を提供しています。

欧州で3つの主要国が、実際に使用される犯行手口に対して具体的な対策に踏み出し、これまでで最も効果的で厳しい要件を発表しました。SBDはこれらの主要国が求める製品設計上のコンプライアンス要件に光を当て、自動車メーカー、追跡システムメーカー、アフターマーケット製品のサプライヤーが時間と費用を節約できる設計上のアドバイスを提供しています。

欧州における追跡システム市場は今後も全体的に成長を続け、OE製品の市場シェアは安定的な拡大を続けます。SBDは、市場を牽引する主要な要因を詳しく分析しながら市場の今後の動向について洞察を行っています。



# Vehicle Tracking Systems ~ Market and Technical Analyses

## (車両追跡システム：市場分析及び 技術分析)

...know what tomorrow brings

### 目 次

#### 車両追跡システム：市場分析\*

##### 第1章 エグゼクティブサマリー

- 1.1 調査範囲
- 1.2 主な結論
- 1.3 欧州における自動車盗難
- 1.4 市場発展を促す要因と技術的な検討事項
- 1.5 市場状況

##### 第2章 本書の構成

##### 第3章 車両追跡システムの発展の背景

- 3.1 欧州における自動車盗難の歴史
- 3.2 自動車盗難の最近の傾向
- 3.3 鍵の盗難による被害の範囲
- 3.4 追跡システムに関する保険要件の採用

##### 第4章 市場分析

- 4.1 欧州における市場動向
- 4.2 英国における市場動向
- 4.3 追跡システム技術別で見た市場シェア
- 4.4 保険認可のメリット
- 4.5 自動車メーカーによる装備

##### 第5章 車両追跡システムの装備を促す市場要因

- 5.1 現在の市場発展要因
  - 5.1.1 保険会社の要求
  - 5.1.2 保険面でのメリット
  - 5.1.3 PAYD保険
- 5.2 短期／中期的な市場発展要因
  - 5.2.1 eCall
- 5.3 長期的な市場発展要因
  - 5.3.1 ETC

##### 第6章 技術動向と脅威

- 6.1 自動車追跡技術の動向の概要
- 6.2 動向
  - 6.2.1 技術
  - 6.2.2 アフターマーケットからOEへ
  - 6.2.3 人間による操作からSOCへ
- 6.3 脅威
  - 6.3.1 顧客の受容
  - 6.3.2 保険要件の変化
  - 6.3.3 性能面の課題

\*市場分析は50ページ、技術分析は79ページからなります。

#### 車両追跡システム：技術分析\*

##### 第1章 エグゼクティブサマリー

- 1.1 はじめに
- 1.2 概要
- 1.3 将来の動向とリスク

##### 第2章 本書の調査範囲

##### 第3章 追跡システム要件の比較

##### 第4章 主要市場におけるコンプライアンスのための設計課題

- 4.1 追加機能の統合
- 4.2 アタックテストの要件
- 4.3 ドライバー認識
- 4.4 予備バッテリー
- 4.5 位置探査の精度
- 4.6 不正移動アラームの阻害
- 4.7 エンジン再始動の遠隔阻止
- 4.8 コンプライアンス要件の概要

##### 第5章 将来の動向

- 5.1 遠隔操作によるエンジン停止
- 5.2 アタックテスト
  - 5.2.1 GSMとGPSの電波妨害
  - 5.2.2 従来の犯行手口の阻止
- 5.3 車両タイプ別の差別化
- 5.4 CEN/TC 278 要件の影響
- 5.5 ベルギー要件の変化

##### 第6章 保険要件の概要

- 6.1 ベルギー：追跡システム要件と評価
- 6.2 イタリア：追跡システム要件と評価
- 6.3 オランダ：追跡システム要件と評価
- 6.4 ノルウェー：追跡システム要件と評価
- 6.5 スペイン：追跡システム要件と評価
- 6.6 英国：追跡システム要件と評価
- 6.7 汎欧州：追跡システム要件と評価

##### 第7章 追跡システム要件の詳細分析

- 7.1 ベルギー：追跡システム要件
- 7.2 イタリア：追跡システム要件
- 7.3 オランダ：追跡システム要件
- 7.4 ノルウェー：追跡システム要件
- 7.5 スペイン：追跡システム要件
- 7.6 英国：追跡システム要件
  - 7.6.1 Thatchamのカテゴリー5要件
  - 7.6.2 ThatchamのTQA 要件
- 7.7 汎欧州：追跡システム要件

# Vehicle Tracking Systems ~ Market and Technical Analyses

(自動車追跡システム：市場分析及び技術分析)

...know what tomorrow brings

## レポートの著者について



ポール・バーンリー  
サリー大学で電子工学を学んだ後、大手ティア1サプライヤーでシステムエンジニアとしてスマートキー開発に携わる。また、自動車業界で12年間の経験のあるポールは、エンジン管理システムの開発にも携わり、車両通信と追跡システムの専門家でもある。

バーンリーが最近執筆又は共同執筆したその他のレポート:

- *European Insurance Market Requirements*
- *European Insurance Technical Requirements*
- *Malaysian Insurance Requirements for Vehicle Theft*
- *India Car Theft and Insurance*

SBDが発行しているレポートについては、当社のウェブサイト(www.sbdjapan.co.jp)で詳しくご覧頂けます。

## 注文書

本書の購入をご希望のお客様は、**購入形態**を下記よりご選択いただき、必要事項をご記入の上この注文書を 052 253 6204 までファックスにて送信ください。メールやお電話でのご注文も承っております。レポート内容に関しご不明点やご質問等ございましたら、担当：山口美則（Eメール：yyamaguchi@sbdjapan.co.jp / お電話：052 253 6202）までお問い合わせください。

### レポート送付先

お名前：

貴社名：

部署：

郵便番号：

住所：

電話番号：

E-mail：

ご署名：

注：市場分析・技術分析をセットでお求め頂く場合、特別割引価格にてご提供いたします。

右記は、英語版の価格です。日本語翻訳付をご希望の場合は下記までお問い合わせ下さい。

担当：山口美則  
052 253 6202 / yyamaguchi@sbdjapan.co.jp

### ご請求書発行先（左と異なる場合）

お名前：

会社名：

部署：

郵便番号：

住所

購入形態：（税抜き本体価格、英語版）

	マルチユーザー	シングルユーザー
市場分析	¥ 355,000 <input type="checkbox"/>	¥ 269,000 <input type="checkbox"/>
技術分析	¥ 355,000 <input type="checkbox"/>	¥ 269,000 <input type="checkbox"/>
市場及び技術分析のセット	¥ 639,000 <input type="checkbox"/>	¥ 484,200 <input type="checkbox"/>

注文書のファックス先：052 253 6204